

【問題一】 次の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入すること。
(配点24点)

問一 次の四字熟語の□内に入る漢字一字を解答欄に書きなさい。

- 1 暗中□索 2 呉越同□ 3 五里□中

問二 次の慣用句の()内に入る漢字一字を解答欄に書きなさい。

- 1 青菜に() 〈元気なくしょげること〉
2 三つ子の魂()まで 〈幼い時の性質は変わらないこと〉
3 ()牛の一毛 〈ほんの一部〉

問三 次の傍線部の助詞の種類は何か。選択肢の中から正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

・渋沢栄一の肖像が新紙幣に採用されるという。

- a 接続助詞 b 副助詞 c 格助詞 d 終助詞

問四 次の作品のうち三島由紀夫の作品でないものはどれか。選択肢の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- a 金閣寺 b 潮騒 c 花ざかりの森 d ふらんす物語

問題【二】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答

欄に記入すること。（配点、問一～問四 20 点、問五 31 点）

コロナ禍は、子どもたちの生活を一変させた。ユネスコは 190 カ国以上で約 16 億人の子どもがコロナ禍による学校閉鎖の影響を受けたと推計。多くの研究で、メンタルヘルスの問題、睡眠の質の低下、運動不足、体重増加など負の影響が示唆された。また複数の研究が、コロナ禍による就学児の学力低下を示す。一方、コロナ禍が未就学児の発達にどう影響したのかは、これまでほとんどわかっていなかった。〈一〉

2 ～ 5 歳の子を持つ母親 245 人を対象にしたイタリアの研究は、ロックダウン中に子どもの情緒や自制の問題が増えたと報告している。だがこの研究は、コロナ禍前の子ども様子を母親に思い出してもらい前後比較をしているため、現実の状況との乖離が生じている可能性がある。また、インターネット調査であるため、サンプルに偏りがある可能性もある。〈二〉

日本の 3 つの幼稚園の 4 ～ 5 歳の子ども 32 人を対象にした研究は、コロナ禍でお遊戯会を中止した 2 園と実施した 1 園の子どもの発達を比較した。お遊戯会を中止した園では子どもの社会情動的スキルの得点が下がり、実施した園では得点が維持されたという結果は興味深い。だがこの研究は、サンプルサイズが小さく、子どもの属性が十分に考慮されていないなどの限界がある。

筆者らは、コロナ禍前の 2017 年から実施していた乳幼児に対する調査の結果を分析し、コロナ禍と乳幼児の発達との関連を調べた。この研究成果は、小児科分野のトップ論文誌に掲載された。〈三〉

17 ～ 19 年、首都圏のある自治体の全認可保育所（小規模含む）に通う 1 歳または 3 歳の乳幼児 887 人を対象に一回目の調査を行った。2 年後（19 ～ 21 年）に 2 回目の調査を行い、追跡期間中にコロナ禍を経験した群とそうでない群の間で、3 歳または 5 歳時（各年 4 月 1 日時点）の発達を比較した。乳幼児の発達は、「KIDS 乳幼児発達スケール」と呼ばれる指標を用いて計測した。〈四〉

130 ～ 140 項目の行動のうち、それぞれの乳幼児ができる項目の数によって発達年齢を算出する。総合的な発達のほか、①運動、②手指の操作、③言語理解、④言語表出、⑤中小的概念理解、⑥対子ども社会性、⑦対成人社会性、⑧しつけの 8 つの発達領域についても個別に評価を行った。なお、本調査では、保護者ではなく担任の保育士が客観的に発達の評価を行った。

分析では、線形混合効果モデルと呼ばれる回帰分析の一種を用いて、子どもの月齢、性別、一回目調査時の発達、保育園の保育の質、保護者の精神状態、出生時体重、家族構成、世帯所得、登園日数などの影響を考慮した。分析の結果、5 歳時点でコロナ禍を経験した群は、そうでない群と比べて平均 4.39 カ月の発達の遅れが確認され、8 つの発達領域す

べてで負の関連が見られた。一方、3 歳時点でコロナ禍を経験した群には明確な発達の遅れは見られなかった。興味深いことに、3 歳時点ではコロナ禍を経験した群のほうが、運動、操作、概念、対子ども社会性、対成人社会性の領域の発達がむしろ進んでいる傾向にあった。

なぜ 3 歳と 5 歳で対照的な結果となったのだろうか。筆者らは、コロナ禍による保護者の在宅勤務の増加が、3 歳時点でいくつかの領域で発達が進んだ理由の一つではないかと考えている。この年齢の子どもは、大人とのやり取りを通してさまざまなことを学ぶ。在宅勤務によって保護者が子どもと密に接する時間が増えたことで、コロナ禍が発達にポジティブな影響を与えた可能性がある。

一方、3 ～ 5 歳は社会性を身に付ける時期とされ、〈ヘイ〉が重要である。コロナ禍によって保護者以外の大人やほかの子どもと触れ合う機会が制限されたことが、5 歳時点での発達に負の影響を与えた可能性がある。また、3 歳、5 歳ともに発達の個人差がコロナ禍で拡大していることも明らかになった。とくに、質の高い保育を提供する保育園に通っていた子は、3 歳時点の発達が良好な傾向にあった。一方、保護者が精神的な不調を抱える家庭の子は、コロナ禍を経た 5 歳時点の発達の遅れが顕著だった。

これらの結果から、コロナ禍で負の影響を受けた子どもに対する、積極的な支援が求められる。また、今後の感染状況に留意しつつ、なるべく速やかにコロナ禍前の保育環境に戻していくことが乳幼児の発達のうえで重要である。筆者らの研究は、自治体の協力を得てコロナ禍以前から認可保育所の悉皆（しっかい）調査を行い、保育士の方々に子どもたちの発達を継続して計測していただいたことにより実現できた。ただし、今回の知見はあくまで一自治体のデータから得られたものであるため、ほかの自治体や国にも当てはまるかどうかはわからない。また、コロナ禍を経験した群とそうでない群を比較する際に、子どもの調査時点の月齢、性別、コロナ禍前の発達など観察可能な属性については両者の間でバランスが取れるよう統計的な調整を行っているが、観察できない違いがあった場合は、結果にバイアスが生じている可能性がある。

それでも、世界で初めてコロナ禍と乳幼児の発達との関連を定量的に明らかにした点で、本研究には一定の学術的価値があると考えている。なお、今回の研究で見られた発達の遅れはあくまで一時的なものであり、長期的な影響に関してはさらなる調査が必要である。乳幼児の発達や保育の質を継続的かつ定量的に把握していくことが重要だ。

（佐藤 豪竜・深井 太洋の文章による）

問一 問題の文章中には例のような同音異義語あるいは同訓異字の漢字間違いがー箇所ある。その間違いを指摘し正しい漢字に直しなさい。

- | | | | | | | |
|-----|------------|---|----|---|---|----|
| 例 1 | 大臣の職を自認する。 | 誤 | 自認 | ↓ | 正 | 辞任 |
| 例 2 | 有名人を排出する。 | 誤 | 排出 | ↓ | 正 | 輩出 |
| 例 3 | 事務を取る。 | 誤 | 取る | ↓ | 正 | 執る |

問二 次の文章は問題文中の〈I〉〈II〉〈III〉のうち、どこに入るか。最も適切な位置をーつ選び、〈I〉〈II〉〈III〉の番号で答えなさい。

〈以下では、その概要を説明したい。〉

問三 問題文中〈I〉に入る語句として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものをーつ選び、記号で答えなさい。

- a 親子関係 b 遊びや運動 c 他者との交流 d 個性の尊重

問四 問題文中傍線部〈悉皆（しっかい）調査〉の意味として正しいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものをーつ選び、記号で答えなさい。

- a 全数調査 b 一部の抽出調査
c 継続的調査 d 定量的調査

問五 問題文の要旨をーー0 字以上、ーー20 字以下でまとめなさい。句読点も字数に含める。ただし、要旨の中に「3 歳時点」「5 歳時点」「乳幼児」の語句を必ず入れること。なお、使用する語句の順番は問わない。
※解答は解答欄のーマス目から書き始めること。

【問題三】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入すること。（配点 25 点）

明治安田生命による子どもの名前ランキングで、昨年生まれた女の子の1位は陽葵だった。ひまり、ひなたなどと読むそうだ。上位には芽依（めい）や心春（こはる）など、いまごろの日ざしを思わせる漢字が並ぶ。願いを込めて名を付ける。へい〜というものだろう▼夏目漱石には7人の子どもがいた。字がうまくなるようにと付けた長女の筆子から、ひな祭りの前夜に生まれた一番下の雛（ひな）子までの5女2男。桃の（ロ）が近づくと、漱石は娘たちとひな人形を買いにいくのが常だった、と四女の愛子が「父漱石の霊に捧ぐ」に書いている▼ステッキを手に、店であれこれと品定めをする父の顔は「幸福そうに輝き、その表情はいかにも満足気だった」。子どもたちが部屋に飾った人形を一つひとつ見ながら、並んだ菓子をつついておどけてみせる▼「いやだ、おとう様。そんなことして私達のお菓子を食べては」。すると、にやにやしながら自分の書斎に戻る。へ二人して雛にかしづく楽しさよ。漱石が詠んだ句の「雛」とは、いとし子を指すようにも思える▼片付けは早く、とも言われるので、もう飾りをしまふ算段を講じている方もいるかもしれない。薄紙で人形を包み直しながら、わが子のかつてを思い出し、これからの幸せを祈る。ひなからへへへ。3月は巢立ちの月でもある▼きのうの朝日歌壇にあった。へ引越しの荷物次々運び出す一人娘が家を出る春へ片岡輝雄。ひな人形は残してゆくのだろう。家族との思い出がへ二〜の中に詰まっている。

（令和六年三月四日付朝日新聞、『天声人語』より）

問一 問題文中の「へい〜」「へ二〜」に入る最も適切な漢字を答えなさい。ただし、全て漢字2字で答えること。

問二 問題文のタイトルとしてふさわしいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- a 子どもの名前
- b ひな祭りの思い出
- c わが子の思い出
- d 家族との思い出